

第 29 回 山のグラウンドワーク 事業実施報告書

1. 事業の概要 第 29 回山のグラウンドワークを、「東広島市憩いの森公園」で開催しました。開会式直前から雨が降り出し、開催が危ぶまれましたが、当日参加もあり今回も 100 人以上の人が集まり、無事に最後まで山の手入れが行えました。また、前回から広島大学大学院生が除伐した森林の調査を行っており、今回も午前中は調査、午後からは山の手入れに加わってくれました。今回の作業でこの場所の手入れをしばらく中断することもあり、除伐作業と同じくらいの比率で除伐した枝や材を山から下ろしてきれいにする作業を行いました。大学生はリーダーや賀茂地方森林組合の指導者に習い枝を束ねてナワでしばりせつせと山から運びだし、西条農業の高校生たちは、丸太を山奥から元気よく運んでいました。運び出された材は、まき割り機でどンドンマキになり、木の種類や大きさによって炭焼き用、キャンプファイヤー用などに分けられました。また、前日から焼いていた炭も焼きあがり、作業を終えるころには煙の色も変化をみせていました。なお、中国新聞社と広島FMが取材に来られました。

2. 日 時 2007 年 7 月 1 日（日）9：30～15：00

3. 場 所 東広島市憩いの森公園（龍王山）炭焼き広場周辺

4. 参加者 105 人

5. 作業内容 ①除伐材の回収 ②雑木林の除伐 ③まきづくり

6. 天候 曇り時々雨

7. プログラム 8：45 スタッフ集合・準備

9：00 受付(セミナーハウス)

9：30 開会式（炭焼き広場）

10：00 グラウンドワーク

11：50 作業終了

12：00 昼食

13：00 炭焼きのお話・グラウンドワーク

14：20 閉会式（炭焼き広場）

14：45 解散

8. 役割り分担

総括責任者 中越 信和（広島大学大学院教授）

前垣 壽男（西条酒造協会理事長）

炭焼き指導 惣郷 公三（東広島市民）

作業指導 高下 義彦（賀茂地方森林組合）

三好 秀和（賀茂地方森林組合）

看護 古本 世志美（井野口病院看護部長）

9. 実施体制 主催：西条・山と水の環境機構、広島大学

協力：賀茂地方森林組合、広島県森林環境づくり支援センター、
東広島市、財団法人東光会、吉行生産森林組合、井野口病院



開会式（炭焼き広場）



班ごとに山へ入る参加者たち



除伐後の植生を調査する広島大学大学院生



造成斜面の下草刈りをする参加者



午後最初のプログラムは炭についての講義



F M放送の取材をうける中越運営委員長



除伐によって明るくなった里山（手前）



除伐した枝などは、縄でしばって運び出す。



丸太を運ぶ農業高校の高校生たち



大きな材は、まき割り機で割る。



炭焼き用の材は、皆で 40 センチに切り揃える



作業を行った里山林をバックに記念撮影

雑木散髪山すつきり

東広島 ボランティアが手入れ



藤王山で除伐作業に汗を流す大学生ら

市民がボランティアで山の手入れをする「山のグラウンドワーク」が一日、東広島市西条町の龍王山であった。市内の酒造関係者らでつくる環境保全団体「西条・山と水の環境機構」などが主催

【有馬】**平安祭典**

した。地元の大学生ら百五人が参加。廣渡地方森林組合の職員や広島大教授の指導で七班に分かれて山に入り、のこぎりで次々と雑木を切り出した。山のグラウンドワークは台風被害を受けた森林をよみがえらせようと二

〇〇年秋に始まり、二十九回目。

同市西条下見の広島大三年中瀬さくらさん(21)は「豊かな自然を残すには人の手入れが必要だと実感した」と話していた。(藤原直樹)